

イトトンボ

Ryukyu black wing damselfly / *Matrona basilaris japonica* / Ryukyu haguro-tombo / リュウキウハグロトンボ

奄美大島、徳之島、沖縄本島の固有種であるイトトンボで、通常のトンボに比べて翅が繊細で、体は細長い。リュウキウハグロトンボは特に目立ち、オスの体はメタリックな青緑や黄緑で、翅は紫を帯びた光沢のある黒。メスはオスに比べるとシンプルで、翅は褐色で体が赤茶色。山林の溪流付近で多くみられる。メスの求愛行動としては、翅をくねらせ、水面上でホバリングをし、胴体を曲げて腹部を見せつける。受け入れられると近場の枝などで体をハート型に連結し、交尾をする。

Amami blue damselfly / *Coelicia ryukyuensis amamii* / Amami rurimon-tombo / アマミルリモントンボ

似た種類のイトトンボは近場の島にも存在するが、この繊細なイトトンボは奄美大島と徳島の固有種で、溪流や湿地帯でよくみられる。成虫の雄は、頭と腹部が瑠璃色で、黒い体には細い青い縞模様がある。メスは長く黒い体に黄色い縞模様があり、頭と腹部も黄色い。